



通常総会の様子

日造協は6月21日(金)、東京都千代田区隼町のホテルグランドアーク半蔵門で、令和元年度通常総会を開催した。総会では議事に先立ち、各種表彰(2面)を実施。和田会長から56名の方々に表彰状の授与を行った。議事では、「平成30年度決算報告」「役員の補欠選任」の2議案を承認。続いて、「平成30年度事業報告」「平成31年度事業計画」「平成31年度収支予算」報告事項等を報告の後「重点活動2019決議」を全会一致で採択した(3面)。総会後には講演会、意見交換会を開催(3面)。多数のご来賓の方々をお迎えし、意見交換会は盛会裏に終了となった。

総会は冒頭、和田新也会長があいさつ(別掲)の後、古澤達也国土交通省公園緑地・景観課長から、あいさつおよび国土交通省からの情報提供をいただいた。

議事に先立ち、造園建設功労賞、業績表彰、勤続精励表彰を53名の方々に表彰状、協会活動への貢献から3名の方々に感謝状を和田会長より記念品と合わせて授与を行った。

議事では、第1号議案「平成30年度決算報告について」は、事務局が報告を行い、監査報告の後、承認。第2号議案「役員の補欠選任について」は、大島聰西武造園㈱取締役社長、藤吉信之(一社)日本造園建設業協会上席調査役を新任理事に選任した。

総会ではそのほか、報告事項として、(1)平成30年度事業報告、(2)平成31年度事業計画、(3)平成31年度収支予算について、事務局が概要を説明した。

また、各委員会から活動報告が行われ、技術委員会は、技術・技能部会の「技術・技能継承企画、品質管理、工程管理、工事仕様書、技術者評価システム、緑地育成工事仕様書をはじめ、これらの歩掛検討」、技術フォーラム部会の「造園技術フォーラム開催、技術情報発信・共有化、技術・技能研修、技術書籍普及などについての企画立案」、技能五輪等部会の「技能五輪全国大会運営、技能五輪運営委員会への出席」、安全部会の「造園工事、管理の安全衛生管理ガイドライン企画・作成、事故発生状況の情報収集とまとめ、造園工事特有の労働災害防止ガイドライン作成・啓発ツールの定期的更新」、調

査・開発部会の「造園新技術情報収集、新たな造園技術。LID技術指針の企画検討」などについて紹介した。

事業委員会は、造園フェスティバル推進部会の「フェス



古澤達也国土交通省公園緑地・景観課長

ティバル企画立案、マスコミへの情報発信策の立案、魅力ある産業のアピール活動企画立案、全国造園デザインコンクール等推進部会の「コンクール実施計画、全国高等学校造園教育研究協議会との連携強化、インターンシップなどの検討、企画立案」、人材育成部会の「地域リーダーズ活動支援・造園CPD単位取得促進企画、経営者研修会企画、造園施工管理技術検定受験対策講習会企画立案、職長・安全衛生責任者講習の企画立案、本部・総支部・支部実施の資格試験・研修会・講演会開催情報の共有化推進企画」、要望・提言活動部会の「国交省・環境省との意見交換会の開催企画・総支部・支部実施の地方整備局、地方環境事務所等への要望活動へのサポート企画、要望・提言活動の情報共有化推進企画、維持管理に関わる工事・業務の経営事項審査上の取り扱いの改善要望案の立案」などについて紹介した。

国際委員会は、国際事業部会の「海外プロジェクト情報の収集・発信、海外視察プログラムの企画、世界各国の街路樹の育成技術等情報の収集」、海外日本庭園保全・再生部会の「海外造園関係団体との交流企画、AIPH活動、Green City

本号の主な内容

- 2面 協会表彰 56名を讃える
造園建設功労賞、業績表彰、勤続精励表彰の賞状、感謝状を授与
- 3面 重点活動 2019決議 造園力を發揮し、持続可能な未来めざす
【学会の目・眼・芽】 緑化事業における植物材料選定のジレンマ
(公社)日本造園学会前九州支部長・九州大学大学院芸術工学研究院教授 包清 博之
- 4面 【ふるさと自慢】 現地に来ないと得られない体験を
山梨県支部 大塚 広夫(株雲松園)
【緑滴】 わが家の癒し
鹿児島県支部 沢津橋 千菜(株沢津橋造園)

(一社)日本造園建設業協会
会長 和田 新也



新・担い手3法による働き方改革促進 経営環境のさらなる改善に期待

新たな元号「令和」になっての通常総会に、公務ご多忙の中、国土交通省都市局公園緑地・景観課長の古澤達也様にご臨席を賜り誠にありがとうございます。

日頃から、私どもの協会が多大なご協力、ご指導を賜っておりますことをこの場をお借りして御礼申し上げます。

また、全国各地からご参集いただいた会員の皆様方には、常々、日造協活動にご尽力いただいておりますことを心から感謝申し上げます。

さて、私どもを取り巻く状況は、担い手3法を契機に大きく変化してきたと感じております。3法の施行から5年が経ち、今月7日には、働き方改革の促進を柱とする、新・担い手3法が成立いたしました。さらに経営環境の改善が図られますことを、期待しております。

また、国が主導する建設キャリアアップシステムと連動する建設技能者の能力評価制度や、外国人労働者の受け入れ制度などの新たな動きにも乗り遅れることのないよう、対応を進めていきたいと考えております。ご協力よろしくお願いいたします。

本日は、先程、自民党の都市公園緑地対策特別委員会、都市公園緑地等整

備促進議員連盟、合同会議が開催され、都市公園緑地等の予算の確保等の要望をして参りました。

このような中、日造協活動の強化に向け、「会員拡大プロジェクト」の推進に取り組んでおりますが、この3年間で、新たな仲間として69社の正会員を迎えることができました。

これもひとえに各総支部・支部はじめ関係の皆様のご努力の賜物と感謝申し上げます。引き続きのご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

本日は、平成30年度決算報告及び役員の補欠選任の審議、平成30年度事業報告、平成31年度事業計画等の報告、委員会・部会活動の報告後には、「重点活動2019決議」をいただく予定です。

それに先立ちまして、造園建設業界の発展等に多大な功績をあげられた56名の方々を表彰させていただきます。受賞されます皆様、誠におめでとうございます。

これまでの永年にわたるご労苦とご功績に対しまして敬意を表しますとともに、今後益々のご活躍をご祈念申し上げます。

本日の審議、今後のご支援・ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

(通常総会あいさつより)

活動の企画立案、Word Urban Parks-Japan、IFLA-Japan活動との連携企画などについて紹介。

造園領域発展戦略委員会は、戦略立案

部会の「日造協活動の成果・実績評価、今後の造園界の将来構想の企画、戦略的活動展開方向の立案、日本庭園文化の世界遺産等登録の検討、会員からの庭園によるプロジェクトの企画・立案・推進」、担い手育成・確保推進部会の「担い手育成・確保行動計画の推進、就労環境整備策の検討」、女性活躍推進部会の「工事現場における環境整備策の検討、女性の積極的な活用促進策の検討、女性就労促進行動計画の推進の検討」、会員拡大プロジェクト推進部会の「拡大プロジェクトの企画・立案・推進」などについて紹介した。

継続するとともに、3つの重点事項を採択した。

また、昨年度の総会以降の入会員は21社となり、このうち令和元年度入会員8社で



藤吉信之 専務理事

あるなど、新入会員を紹介。

さらに、休憩時に賛助会員の紹介も行われ、当日の臨時理事会にて、専務理事に選定された藤吉信之氏が就任のあいさつを行い、閉会となった。

なお、総会後は、17時から高梨雅明常任顧問による講演会「今後の日造協のあり方について」(次号詳報)、18時から多数のご来賓をお迎えしての意見交換会を開催した(3面)。

法定福利費の内訳を明示した標準見積書の活用により、法定福利費の確保を図りましょう！

協会表彰 56 名を讃える



令和元年度の協会表彰は、造園建設功労賞 13 名、業績表彰 32 名、勤続精励表彰 8 名の 53 名の方々に表彰状、協会活動への貢献から 3 名の方々に感謝状を和田会長より、記念品と合わせて授与を行った。



業績表彰

総支部	支部	氏名	年齢	所属
北海道	北海道	若林正明	56	(株)四宮造園
〃	〃	田中 太	46	(株)田中潦風園
東北	山形	武田和博	60	(株)武田園芸
関東・甲信	茨城	山内源治	66	不二造園土木(株)
〃	群馬	新田直人	57	新田造園土木(株)
〃	埼玉	田上 清	66	(株)大利根造園
〃	〃	殿井正仁	64	(株)内田緑化興業
〃	千葉	越川昭雄	58	(株)生光園
〃	〃	川井邦広	55	(株)赤門
〃	東京	坂元博明	62	(株)柳島寿々喜園
〃	〃	松村 一	58	松村園芸(株)
〃	〃	佐藤英介	56	(株)石勝エクステリア
〃	〃	前島重男	45	(株)昭和造園
〃	神奈川	山田義朝	61	(株)村瀬造園
〃	〃	越川雅彦	55	(株)田澤園
〃	山梨	大塚広夫	45	(株)雲松園

(32名)

総支部	支部	氏名	年齢	所属
関東・甲信	長野	佐藤滝雄	79	(株)長遊園
北陸	富山	大井 巍	55	(株)大井仙樹園
中部	愛知	船橋太道	56	ヤハギ緑化(株)
〃	三重	赤木隆和	45	中央庭園土木(株)
近畿	滋賀	石原俊夫	70	(株)吉仁園
〃	京都	山田豊久	51	花豊造園(株)
〃	〃	玉井智子	51	(株)玉井造園
〃	兵庫	谷水康行	46	(株)さくら緑化
〃	奈良	高野 治	55	関西緑地サービス(株)
〃	和歌山	楠本良平	46	(株)楠昌園
中国	山口	多々良健司	56	(株)多々良造園
四国	高知	武本年興	56	東洋園芸食品(株)
九州	佐賀	鳥越澄男	69	(株)武雄緑化センター
〃	熊本	吉井栄朗	55	(有)三共緑地建設
〃	大分	奥畑正喜	59	(株)大山
〃	鹿児島	沢津橋鉄盛	66	(株)沢津橋造園

(32名)

造園建設功労賞

総支部	支部	氏名	年齢	所属
北海道	北海道	宮崎洋二	74	景観緑化(株)
東北	青森	三浦利史	55	(有)三浦造園
関東・甲信	千葉	湯浅浩一	52	(株)ユアサ園芸
〃	神奈川	田口正典	57	(株)田口園芸
〃	長野	藤原繁幸	71	(株)信州グリーン
北陸	新潟	樋浦明夫	65	石川緑樹(株)
中部	岐阜	川瀬勝之	71	(株)植倉造園

(13名)

総支部	支部	氏名	年齢	所属
近畿	福井	南 雅義	52	(有)南造園
〃	大阪	奈須正典	63	(株)奈須造園
四国	愛媛	長井只志	71	愛媛緑地(株)
九州	佐賀	川崎正則	68	(有)かわさき造園土木
〃	鹿児島	川崎賢作	74	(株)川崎植木
沖縄	沖縄	神谷朝貞	69	(株)平成造園



感謝状

総支部	支部	氏名	年齢	所属
本部	本部	阿部 徹	66	本部事務局
近畿	大阪	田中明男	65	(株)田中造園土木

(3名)



公園・緑地に関する予算等の要望を行う 都市公園緑地対策特別委員会、都市公園緑地等整備促進議員連盟合同会議

6月21日、自由民主党都市公園緑地対策特別委員会・都市公園緑地等整備促進議員連盟合同会議において、日造協の和田新会長、(一社)日本造園組合連合会荻原博行理事長、(一社)日本公園施設業協会内田裕郎会長がともども出席し、各団体から要望を行った。日造協は、和田会長から令和2年度公園・緑地に関する予算等の要望を行い、正本事業委員長が以下の要望内容を具体的に説明した。

一、都市公園等関係予算の確保
二、都市公園の安全・安心対策、長寿命化対策の支援の推進
三、東日本大震災復興事業予算、熊本地

震復興関係予算の確保

四、緑・花・庭を通じた国際交流関係予算の確保

五、造園工事の適正な発注等

また、日造協から、会長、副会長、総支部長・支部長等を含め、53名が出席した。

合同会議の席上で、予算等の要望を行う和田新会長



建設業界の皆様へ

建退共に加入しませんか

福祉の増進と企業の振興のための退職金制度です

建設工事の第一線で働く優秀な人材確保にも寄与!

- ◎法律に基づき運営される国が作った制度
- ◎建退共加入は「経営事項審査」で加点評価
- ◎国からの財政上の支援
- ◎掛金は全額非課税 (損金または必要経費に算入できます)
- ◎複数の企業間を就業しても通算して退職金を支給
- ◎加入の手続きは簡単

- 加入できる事業主 建設業を営む事業主
- 対象となる労働者 建設業の現場で働く方
- 掛金は一日310円

独立行政法人 勤労者退職金共済機構
〒170-8055 東京都豊島区東池袋1丁目24番1号(ニッセイ池袋ビル)
TEL 03-6731-2866(ダイヤルイン) FAX 03-6731-2895
建退共 検索

重点活動 2019 決議

造園力を發揮し、持続可能な未来めざす

総会では、造園建設業の持続的な発展と緑豊かな安全・快適で美しい持続可能な社会の実現に向け、「造園力！いのちを支える造園技術で、持続可能な未来へ」のスローガンのもと、以下の事項に会員が重点的に取り組むことを決議した。

私たちは、これまで時代の要請に応え、安全・安心で活力ある豊かな緑の創出・育成、さまざまな自然災害に対応した復旧・復興支援活動の実施、地球温暖化や生物多様性などの環境問題や緑・花・庭を通じた国際交流等に取り組んできた。新たな令和の時代においても、私たちは引き続き、長年にわたって培ってきた造園力をもって、次世代に誇れる緑豊かで美しく活力ある社会を創り出す役割を果たさなければならない。

「造園力！いのちを支える造園技術で、持続可能な未来へ」

のスローガンのもと、法令遵守はもとより企業倫理や社会規範に沿った事業運営、企業としての社会的責任を積極的に果たしながら、下記事項に一致団結して重点的に取り組むことを、ここに決議する。

一、働き方改革の推進

- 週休2日工事の推進、不規則長時間労働の是正
- 技能労働者の適切な賃金水準の確保
- 社会保険等の加入徹底、法定福利費の確保・適正な支払
- 労働安全衛生管理の徹底

二、担い手の育成・確保の推進

- 国家資格・日造協資格の取得促進等による技術者の育成
- 女性活躍環境の構築支援
- 全国造園デザインコンクール等を通じた若年者等の入職促進
- 地域リーダーズ活動の支援等による経営者の育成
- 建設キャリアアップシステムの活用促進

三、造園力の発揮機会の拡大

- 防災協定の締結促進による災害復旧活動等の展開
- 事業量・造園発注の拡大等の要望・提言活動の展開
- 緑・花・庭を通じた国際交流・協力の推進
- 新たな課題への取り組みの促進
- 造園技術の向上、造園技術情報の共有化
- 会員拡大プロジェクトの推進による日造協活動の拡大

令和元年度通常総会

講演会・意見交換会を開催

令和元年度通常総会後は、「今後の日造協のあり方について」と題して、高梨雅明常任顧問より、ご講演をいただいた（次号詳報）。

また、午後6時から意見交換会を開催。多数のご来賓の方々にもご参加いただいた。

意見交換会は、冒頭、主催者を代表して、和田新也会長があいさつ。

ご来賓の都市公園緑地等整備促進議員連盟会長・今村雅弘衆議院議員は、「本日、都市公園緑地等整備促進議員連盟合同会議が開催され、国づくり、ふるさとづくりへの前向きなご意見がたくさんあった。また、合同会議には、二階俊博・自由民主党幹事長も参加された。これは今までになかったことで、議員連盟は現在、150名となり、皆様のお仕事の大切さが理解され、いい関係で発展してきたからである。今後も胸を張って予算確保に尽力したい」と述べた。

次いで、都市公園緑地対策特別委員長・



和田 新也 会長



今村 雅弘 衆議院議員



江崎 鐵磨 衆議院議員



福井 照 衆議院議員



古澤達也公園緑地・景観課長



鳥居敏男 環境省大臣官房審議官



富田祐次修景協会会长



木上正貢 副会長

学会の目・眼・芽 第98回

緑化事業における植物材料選定のジレンマ

（公社）日本造園学会 前九州支部長 九州大学大学院芸術工学研究院教授 包清 博之

3月に日本造園学会九州支部大会が緑化資材の大生産地であり、造園関連事業に深く関わってきた久留米市で開催された。

大会では「久留米のみどりの文化～造園と美の伝統といま」をテーマとし、地域の様々な視点からのパネルディスカッションが行われた。

研究事例報告会では、自然再生や災害復興、景観保全や管理、造園施工、緑地や景観の計画設計、庭園史、ランズケープ遺産など、地域固有の自然や社会に密着した広義の緑に関するさまざまな話題が取り上げられた。

◆
この大会時の話題も踏まえ、街中の

道、田園の野道、林道や遊歩道、キャンパスの中を歩きながら、植栽された草花や樹木などを眺める中で、植物材料の導入の枠組みに興味を覚えた。

◆
自然地、田園、都市やその接点となる地域ではさまざまな緑化事業が展開し、多くの植物材料が計画・設計の仕様書に基づいて大量に導入・植栽され、育成管理されている。

多くの緑化事業における植物材料の選定過程の中では、既存の社会制度の改正や、自然再生推進法、指定管理者制度、公募設置管理制度（Park-PFI）などの新たな枠組みの施行などに伴い、公共に加え、民間事業所、開発・建設事業者、NPO、

地域団体など、意志決定の主体が多様化してきた。

◆
植物材料の選定時には、最近では、生物多様性への配慮やエコトーンの保全への配慮も要請されるようになってきた。

◆
生物多様性への配慮については、地域特性のある植物群落や昆虫・野鳥などの生物相などへの攪乱の回避が求められるために国内外の外来種を排除するのか。

◆
エコトーンの保全については、地域に生育する植物種との交雑の回避が求められるために国内外の外来種を結果的に導入してしまう可能性があるのでないか。

◆
植物材料の確保のし易さなどへの配慮に加え、多様な意思決定の主体や魅

力を享受する人々の嗜好性に応える必要があるのではないかと緑化のジレンマを感じる。

◆
この一見相反するようなジレンマに対応するためには、植物材料の選定時の枠組みの中に、緑化事業の仕様書のあり方を念頭に、客観的に説明し易い拠り所として、植物材料を選定する制約要件（圃場で育成される植物材料のストック、コスト、技術者の人手、植栽基盤等の条件等）に配慮しつつ、植物材料の適切な調達範囲のゾーニング、地域ごとの植物材料の種類の選択枠の設定、植物材料に関する多様な主体を横断する協定や緑化コードの枠組みの設定などの根拠を模索する必要があるのではないかと考えている。

草刈りの飛び石を抑制!!



エンジン刈払機アタッチメント
スーパー カルマー

- 国土交通省NETIS過去登録製品
- 日本建設機械施工大賞受賞製品

お手持ちの刈払機に
取付け可能

回転ハサミ
&
減速システム



飛散低減効果を証明

「国立研究開発法人・農研機構」が

比較試験を実施

従来刃と比較して

飛散物の個数を 80%~90%低減

飛散物の速度を 1/3に低下

「刈取作業中に生じる飛散物による周囲の人や車両への被害の軽減が期待できる」と結論付けられています

詳しくは（株）アイデック企画部へお問い合わせください



東京から北杜市に移住して15年、私が思う山梨県の自慢といえば、驚くほど美しい農村景観と新鮮で美味しい農産物とお酒です。

北杜市は、東に富士山、南に北岳や甲斐駒ヶ岳、北に八ヶ岳と日本を代表する山々に囲まれた八ヶ岳の南麓に位置します。

北杜市には、美味しい食べ物やお酒、魅力的な施設やイベントがたくさんあるので自慢しながら紹介いたします。

東京から北杜市に移住して15年、私が思う山梨県の自慢といえば、驚くほど美しい農村景観と新鮮で美味しい農産物とお酒です。

北杜市は、東に富士山、



地元の酒蔵「七賢」



「萌木の村 ROCK」



HARVEST TERRACE

まず、私が住んでいる北杜市は山の麓から湧き出る湧水が数多くあり、ミネラルウォーター生産量は日本一です。

水資源がとても素晴らしい、古くからその水を使つて多様なアルコールが製造されており、現在では日本酒、焼酎、ワイン、地ビール、ウイスキーが製造されています。

昨年よりこの地にある酒蔵や醸造所を巡る酒ツーリズム（ホクトサケグルグル）

を有志で立ち上げ、景観や食文化、酒の作り手との交流を多くの人々に体験してもらおうと活動中です。

清里で地ビールを製造している「萌木の村 ROCK」は数年前に火災で全焼するというアクシデントがあったにもかかわらず、現在ではさまざまなイベントを開催し、多くの観光客が訪れる人気スポットです。

近年、庭づくりに関してはガーデンデザイナーのポールスミザー氏が手がけています。

お米や野菜が美味しいのも自慢の一つです。

7月以降の夏野菜、トウモロコシやトマトが特に人気で直売所は野菜を買いに来る観光客でにぎわいます。

日照時間日本一と言われ、夏でも朝夕が涼しく、きれいな水、肥沃な土壤が野菜の栽培に適しているのだと思います。

北杜市は近年農業参入が増えており、有機農家や企業農業など盛んになってき

ています。

私自身も造園業との兼業農家として10年前から農業に取り組んでいますが、年々



酒ツーリズム SAKE GURU GURU

地元の野菜を活かした料理

栽培面積は増え、現在は12ha程で生産しています。

昨年夏には体験型農園レストラン「ハーベストテラス八ヶ岳」を農園の中にオープンし、畑で採れた野菜の食事や農業体験のイベントを行っています。

山梨県には素晴らしい景観や美味しい食べ物がたくさんありますので、ぜひ現地に来て体験していただきたいです。

大塚 広夫 (株)雲松園

日造協新入会員のご紹介

社名 / 住所 ☎ 代表者 / FAX

田中造園工業(株) 田中 利也
山形市大字漆山 2899-36
☎ 023-681-7604 FAX 023-681-7604

社名 / 住所 ☎ 代表者 / FAX

(株)山形造園 蜂谷 久
山形市大字十文字 80
☎ 023-687-4602 FAX 023-687-4601

日造協賛助会員の紹介

株御田製作所

高級・安全・コスパの ONDA ロートアイアン

フィリピンに工場を構えています。

また、ロートアイアンはデザインとセキュリティが両立する理想的な防犯建材としても知られています。

建物の美的バランスを損なわずに外部からの侵入を防ぎ、危険を未然に回避し日々の生活を護ります。

ロートアイアンの製法は、鉄を赤くなるまで熱し、デザインを叩き出しながら鍛え、冷やす。だから完全オリジナル製品なのです。

当社は伝統の技術が生み出す、世界でただひとつのロートアイアンをお届けします。

お問合せは、株御田製作所
TEL:03-6914-7020
<https://ondairon.com/>

事務局の動き

[6月]

- 2(日)・技能五輪全国大会競技委員会
- 4(火)・広報活動部会
- 5(水)・技術・技能部会
- 7(金)・登録造園基幹技能者講習委員会(試験委員会)
- 11(火)・造園・環境緑化産業振興会事務局会議
- 13(木)・全国造園デザインコンクール等推進部会
- ・街路樹剪定士認定委員会
- 17(月)・技能五輪全国大会競技委員会
- 21(金)・通常総会
- ・都市公園緑地等整備促進議員連盟合同会議
- 26(水)・第1回造園施工管理技術検定委員会
- 27(木)・要望・提言活動部会

[7月]

- 2(火)・広報活動部会
- 4(木)・女性活躍推進部会
- 5(金)・登録造園基幹技能者講習委員会
- 11(木)・技術委員会
- 12(金)・植栽基盤診断士認定委員会(試験部会)
- 19(金)・植栽基盤診断士認定委員会
- 23(火)・地域リーダースオンライン会議
- 25(木)・運営会議

・令和元年度事務局連絡会議
31(水)・若年者ものづくり競技大会 ~8/1

委員会等の活動

- 広報活動部会
6/4 日造協ニュース6~10月号の内容等について審議した。
- 技術・技能部会
6/5 人材育成研修テキスト「移植技法編」の編集、研修の今後の展開について審議した。
- 技能五輪全国大会 競技委員会
6/2、6/17~11月15日~18日に愛知で開催される大会の競技課題について確認等を行った。(競技委員:坂元部会長)
- 全国造園デザインコンクール等推進部会
6/13 デザインコンクール応募要項についての審議およびインターンシップの企画立案について審議した。
- 要望・提言活動部会
6/27 要望・提言活動状況の確認と今後の要望方針と重点事項について検討を行った。
- 街路樹剪定認定委員会
6/13 街路樹剪定士研修会・認定試験の開催について検討した。

編集後記 今月の広報活動部会ではスカイプを使用してオンライン会議を試験導入してみました。結果はまずまず良好でした。そして、日が傾いてからは…

緑地管理をもっと楽に!!

Key MASAO

CMX2202YC
■乗用草刈機
¥980,000(税抜)

荒野の用心棒
ジョージ

刈幅 1545 mm
刈高 0~320 mm
最大出力 51 PS

CG510 KZC

■ハンドガイド式美残刈車

¥9,000,000(税抜)

農業・建設・林業用運搬車や草刈機等の製造

本社: 〒839-1396福岡県うきは市吉井町福音90-1
TEL0943-75-2195 <http://www.canycom.jp>

CANYCOM
キヤニコム